

令和7年度 空の移動革命社会実装大阪ラウンドテーブル全体会議 ご説明資料

大阪・関西での

空飛ぶクルマ商業運航開始に向けた取り組み

2026年3月26日

株式会社Soracle

(Xはじめました : @SCL_official_JP)



Soracle



eVTOL(空飛ぶクルマ)の特性を活かした新しい空のインフラを構築し、既存の輸送方法では対応できない**社会課題解決**を図り、**経済的価値創造**を行います。

2024年6月、日本航空と住友商事により共同設立(折半出資、CEO(住商)・COO(JAL)出向)

日本初の空飛ぶクルマ航空運送事業会社を目指し、両社と連携して推進



社会的価値創造

eVTOLの特性

電動

自動

垂直離着陸

eVTOLへの期待

低環境負荷

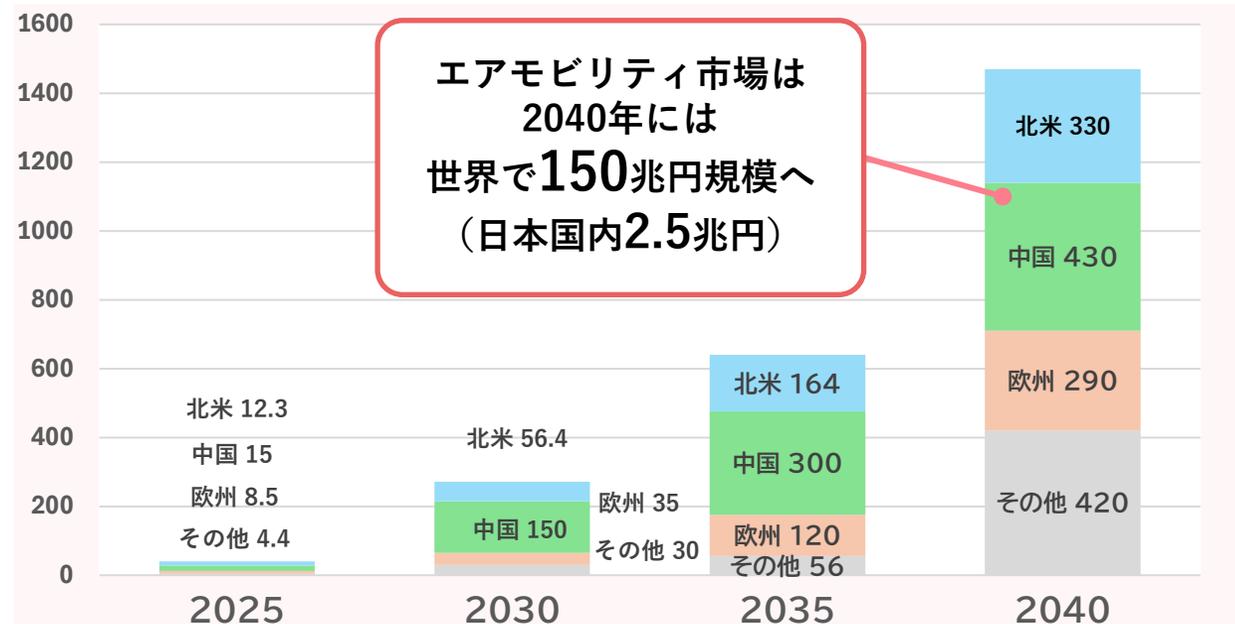
低コスト

未利用空域活用
(街なか・離島・遠隔地)

身近で新しい空の移動価値の創造

脱炭素貢献・労働力不足対応・多様なアクセス構築
地域経済発展・緊急医療迅速化・災害対応強化

経済的価値創造





eVTOL(空飛ぶクルマ)の特性を活かした新しい空のインフラを構築し、既存の輸送方法では対応できない**社会課題解決**を図り、**経済的価値創造**を行います。

エアタクシー

身近で新しい移動方法へ

都市の高層ビルを結ぶルートや、空港・主要駅とのアクセス手段として、圧倒的に早く・快適な空の移動を実現します。



医療・救急

命をつなぐ空のルート

救急搬送の迅速化や、山間部・離島など救急車が到達しづらい場所へのアクセス改善においても、空飛ぶクルマは力を発揮します。より柔軟で効率的な医療搬送体制の構築を検討します。

観光・レジャー

移動そのものを観光体験に変える

海や山、歴史的な街並みなど、地上からは味わえない特別な景色を空から楽しむ遊覧飛行や快適な移動で、観光に新たな付加価値をもたらします。

災害時の支援

道なき被災地へ空からアクセス

地震や台風などで道路が寸断された際にも、空飛ぶクルマは上空から人命救助や物資輸送を担うことができます。復旧活動や支援のスピードを高め、災害時の対応力向上を目指します。

Soracleが目指す展開ステップ



大阪・関西 地域での実装に向けた計画

2025年度



大阪・関西万博

Future Sky Experience

5,500名以上のお客様へ体験型展示
そらクルーズ 未来の空の旅を表現

大阪府 様・大阪市 様との連携協定
大阪メトロ様・小川航空様との協業

2026年度



大阪府市域内 実証フライト

機体運用検証
輸送・充電知見の蓄積
ユースケース検証

航空局への航空運送事業許可取得に向けた申請
Archer社によるJCAB 型式証明申請

2027年度～



*「大阪」は初期フェーズ湾岸エリアを想定

航空運送事業許可 ご承認(弊社希望)
Archer社機体への型式証明 ご承認(弊社希望)

2027年度下期以降 運航開始

大阪・関西に実装
初期フェーズ 湾岸エリア
遊覧運航・二地点間運航

Soracle、米Archer社と戦略的關係構築に向けた基本合意書を締結

Soracleは、米Archer社と戦略的關係構築に向けた基本合意書を締結しました。

両社は、大阪・関西万博でのデモンストレーション運航プログラムの実施に加え、**eVTOLの商用運航実現に向けた協業**の検討を開始することに合意しました。

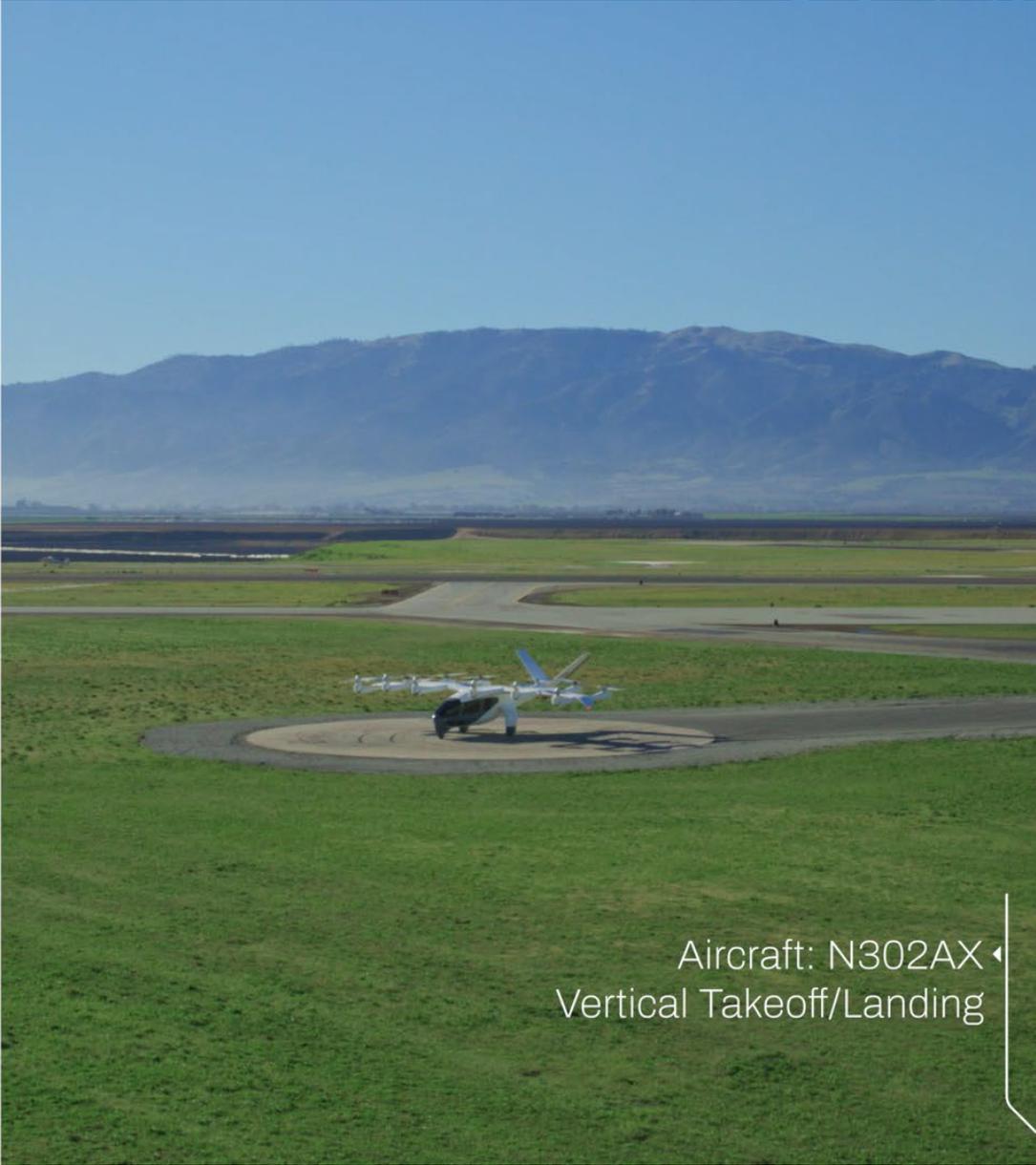
Archer社との基本合意書には同社が開発・製造するeVTOL "Midnight"の最大100機の**購入権取得**を含んでおり、eVTOL社会実装の早期実現に向けた準備を加速して参ります。



Archer社機体 開発飛行 状況



▶ Aircraft: N703AX
Coventional Takeoff/Landing



Aircraft: N302AX ◀
Vertical Takeoff/Landing

2028年ロス五輪公式エアタクシーパートナー

米国大統領令 eVTOL統合パイロットプログラム



- ✓ Archer社はLA28オリパラ大会、及び、米国選手団の公式エアタクシープロバイダーに選定されました
- ✓ Archer社はテキサス・フロリダ・ニューヨーク州と連携し、米国運輸省・航空局の試験運用プログラムに選出
- ✓ Archer社のeVTOLでVIP、観客、関係者輸送を計画
- ✓ 型式証明取得前でも実際の都市・地域で試験運航を行い、安全性や運用データを収集し、将来の規制整備へ活用

大阪・関西万博および その後の社会実装に向けた取組みについて

大阪・関西万博でArcher社Midnightをアジア・日本で初めて
実寸大モデル機体・試験飛行映像・将来運航イメージを展示。

【イベント名】 Future Sky Experience
【期間】 2025年7月8日～15日
【期間】 EXPO Vertiport / 格納庫

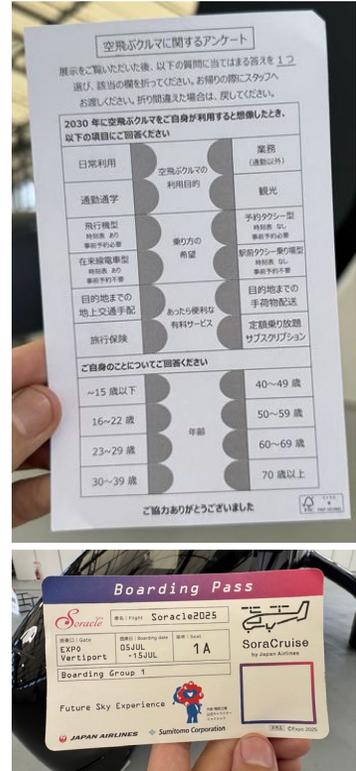


8日間で**5,514名**のお客様が来場・体験
「空飛ぶクルマ」に対する関心度の高さ
社会受容性 向上に寄与





空飛ぶクルマを利用したい路線や活用シーンのアンケート調査を3,300名以上のご来場者に実施



利用したい路線 (上位)

- ・ 関空 ～ 淡路島
- ・ 関空 ～ 大阪市内
- ・ 大阪市内 ～ 淡路島
- ・ 大阪市内 ～ 京都/奈良 他

利用したいシーンやご要望 (上位)

- ・ 観光利用
- ・ 地上交通との結節
- ・ 予約タクシー型 (時刻表なし)



2025年9月10日 連携協定締結

- (1) 関西地域の空飛ぶクルマの運航ネットワーク形成に関する事項
- (2) 空飛ぶクルマ関連ビジネスのワンストップ型展開支援に関する事項
- (3) 救急医療、災害時における支援等に関する事項
- (4) その他、この協定の目的に資する事項



(左から) 吉村洋文大阪府知事、日本航空 宮坂久美子西日本支社長、Soracle 佐々木敏宏代表取締役、同 太田幸宏代表取締役、住友商事 高島恭一郎関西支社副支社長、横山英幸大阪市長



運航拠点 | 大阪港バーティポート

2026年3月7日 大阪メトロ様と基本合意書締結



- 大阪港VPを運航拠点として、必要な施設・設備を共同検討
- 社会受容性向上施策の共同開催(3/8-25イベントご来場5,000名以上)

整備基地 | 大阪ヘリポート

2026年3月16日 小川航空様と格納庫賃貸借契約



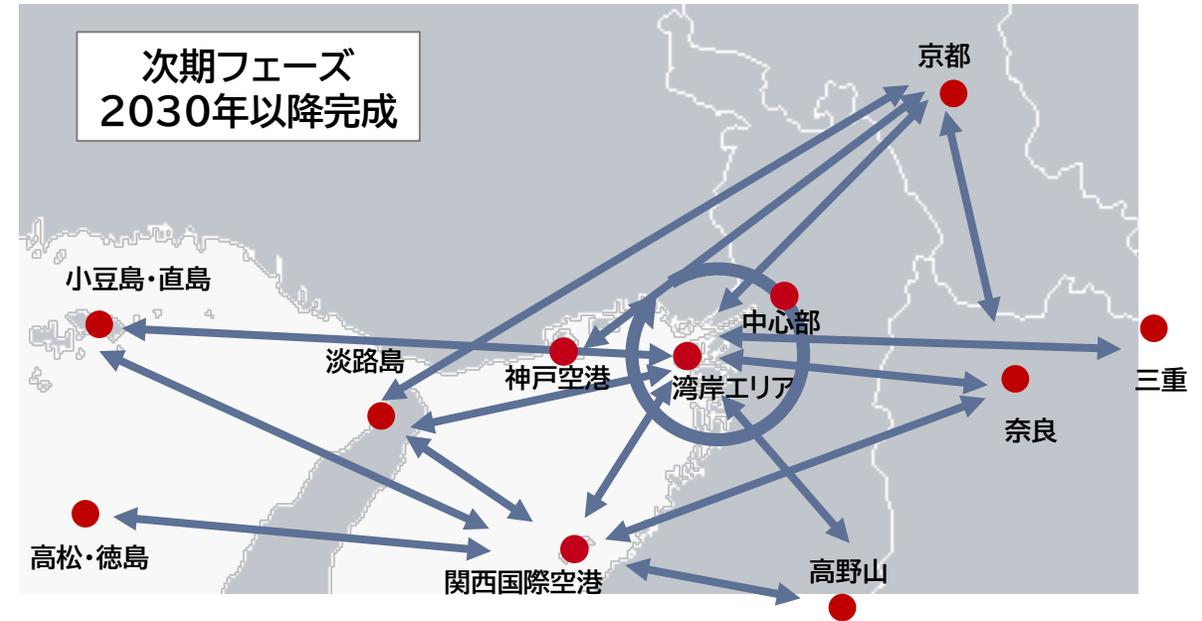
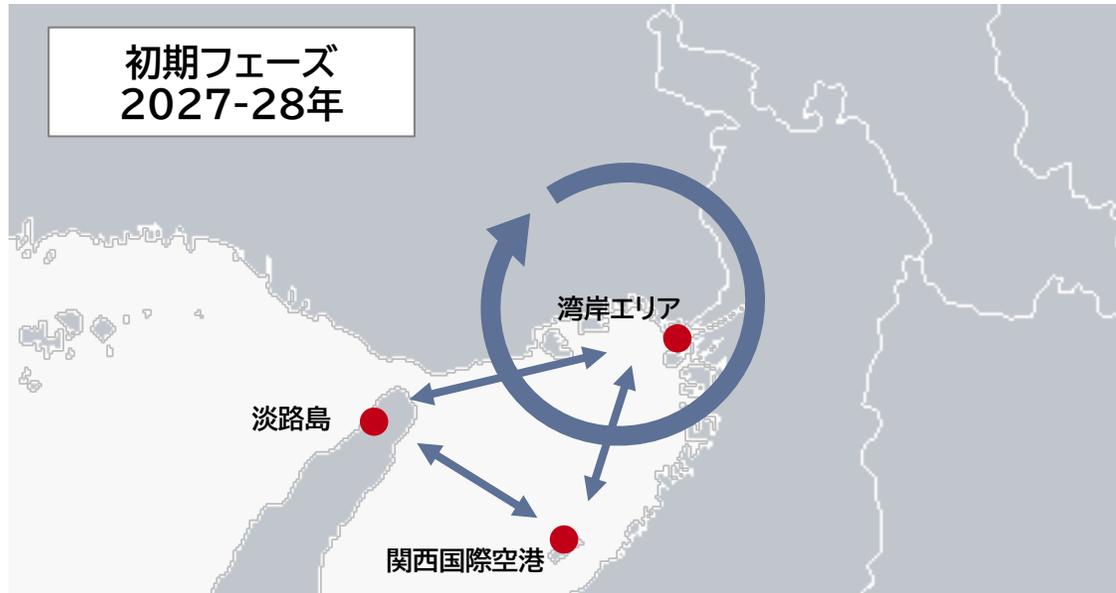
- 大阪ヘリポートの格納庫を整備基地として契約締結
- 大阪港VPの緊急着陸地点としても重要な基地

Soracleが目指す展開ステップ | 拡大フェーズ



展開イメージ

2027年度下期以降、湾岸エリアから遊覧運航に加え、2地点間運航を徐々に拡大。
空飛ぶクルマの全国でも先行した実装を行うとともに、結果として**来訪者増加、地域経済発展、雇用創出**を実現したい。



展開
イメージ

- ①湾岸エリア・淡路島・関西空港 トライアングル運航
- ②湾岸エリア・淡路島 など 観光遊覧

- 関西空港/神戸空港 ⇔ 湾岸エリア 直行便・中心部・地域主要地点
- 湾岸エリア・主要地点 ⇔ 地域主要地点

※地域主要地点:大阪中心部・京都・奈良・淡路島・小豆島・直島・高野山・四国・三重



大阪ラウンドテーブル 参画団体の皆様のお力添え頂きたく、よろしくお願いいたします。

- ・地域ネットワークを実現していくための協業
国内・関西・大阪府市域内でのポート確保に向けて
(大阪市内、淡路、京都、奈良、高野山、瀬戸内海など)
- ・地上交通結節の連携
- ・マーケティング関係の連携

大阪に来れば、全国に先駆けて空飛ぶクルマに乗ることができる近い将来を共に創っていきましょう！

